L-column series
取扱説明書 (プレカラムフィルター)

この度は、*L-column* シリーズをお買上げいただき、誠にありがとうございました。
製品の性能を十分に発揮させ、かつ長期間安定してご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。製品は厳密な性能チェックの後、出荷しております。カラムを落とす、ぶつけるなどの衝撃により形状の変形や性能を損なう場合があります。取り扱いには十分ご注意ください。取扱説明書の事項に従わないで使用し破損や劣化したもの、カラムの寿命に対する事項につきましては、保証の責は負いかねますのでご了承ください。
製品のお取替え及び返品は、製品到着後2週間以内に限り対応し、2週間以上経過した場合、良品受領とさせていただきます。

取扱説明書について
- 製品をお使いになる前に、取扱説明書を読んでいただき内容をご理解した上で、使用方法を守ってご使用ください。
- 取扱説明書は大切に保管しておいてください。
- ご使用に際し、ご不明な点がございましたら、お問合せください。
- 改良のため、予告なく変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の内容を無断で複製又は転写することは禁止しています。

L-column プレカラムフィルターは、分析カラムに直結でき、サンプルや移動相中の微粒子等から分析カラムを保護します。内径1.5 mm～3.0 mmのカラムの寿命を最大限に引き伸ばします。

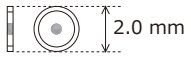
1. 構造

L-column プレカラムフィルターはカートリッジ式でデッドボリュームが非常に少ないため、理論段数の低下がほとんどありません。カートリッジタイプでフィルターを簡単に交換できます。フィルターにSUSリングを取り付けたことにより、UHPLCで使用可能です。

L-column プレカラムフィルター
専用ホルダー

接続タイプ　：ウォーターズタイプ　接続タイプ: ウォーターズタイプ
：UPLC®タイプ

フィルター



材質: 焼結ステンレスフィルター(孔径: 0.5 μm)
焼結ステンレスフィルターの外径2.0 mm

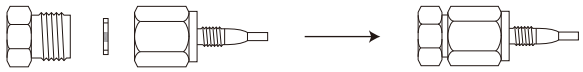
2. 接続タイプ

プレカラムフィルターは、ホルダー(キャップ)の接続タイプの違いにより2種類あります。接続タイプはウォーターズタイプ(W)とUPLC®タイプ(U)です。ホルダー(ボディ)はウォーターズタイプです。ホルダーには、接続タイプを印字してあります(ウォーターズタイプ: W、UPLC®タイプ: U)。

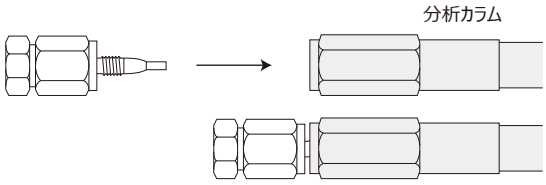
Cat.No.653002　　Cat.No.653004

3. 取り付け方法

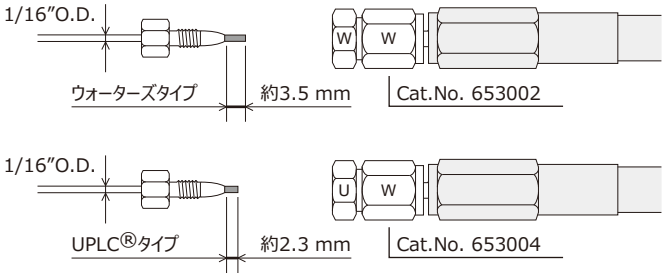
① 組み立て: フィルターをホルダーのボディの中にセットします。フィルターに取り付け方向はありません。キャップを手締めした後、10 mmスパナで約30°増し締めしてください(必要以上に強く締め付けると、フィルターが変形し、ホルダーから外れなくなります。増し締めの角度はあくまでも目安です。手締めの強さにより異なります)。



② 分析カラムとの接続: プレカラムフィルターを分析カラムに接続します。手締めした後、スパナで約30°増し締めしてください(増し締めの角度はあくまでも目安です。手締めの強さにより異なります)。



④ 入口側配管の接続: 入口側の配管を接続します。UHPLCで使用する場合、高耐圧用のジョイントで接続してください。



4. 使用上の注意

- 分析カラムの使用pH及び使用圧力の範囲内でご使用ください。
- プレカラムフィルターの材質を劣化させる溶媒は使用できません。
- 定期的にホルダーを洗浄してください。溶媒に浸漬し、超音波洗浄器を用いて洗浄すると効果的です。
- 一度締め付けたフィルターは再使用できません。圧力の上昇、ピーク形状の異常及び分離低下が生じたら交換してください(交換フィルター5個/組; Cat.No. 653003)。
- *L-column* プレカラムフィルターは、*L-column* シリーズへの取り付けることを前提に設計しています。他社カラムへの取り付けによる不具合は保証しません。

CERI 一般財団法人 化学物質評価研究機構
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan
https://www.cerij.or.jp
東京事業所 クロマト技術部
e-mail chromato@ceri.jp
TEL 0480-37-2601　FAX 0480-37-2521
〒345-0043 埼玉県北葛飾郡杉戸町下高野1600番地

2023/01